

True Aussie

ロゴマークについて



オーストラリアは、高品質な赤身肉を生産する理想的な国として好意的なイメージを持たれている国です。このオーストラリアのシルエットは、明るくクリーンな大自然を豊かな色彩のグラデーションで表現したものです。

もはや四半世紀前のオーギー・ビーフ&ラムではありません。安心で安全、そして確かな品質の証である美味しさも、多くの料理人を納得させるまでになりました。
"今"のオーギー・ビーフ&ラムを広く認知していただくための、強いメッセージを込めたロゴです。

オーギー・ビーフが次なる時代へと掲げたブランドメッセージは
"TRUE AUSSIE BEEF" <今ある真の姿、オーギー・ビーフ>。
オーストラリアの大自然の恵みが凝縮した、安全・おいしい・ヘルシーな牛肉として、
日本を筆頭に世界100か国以上に輸出されています。

2014年7月に一新した新しいロゴは、
この四半世紀の間に品質が大幅に向上したオーギー・ビーフの今ある真の姿を
正しくお伝えするとともに、更なるグローバル化対応を目的としています。

MLA豪州食肉家畜生産者事業団

www.aussiebeef.jp www.aussielamb.jp

Copyright © 2018 Meat & Livestock Australia. All Rights Reserved.



AUSSIE BEEF & LAMB

オーギー・ビーフ&ラム概要

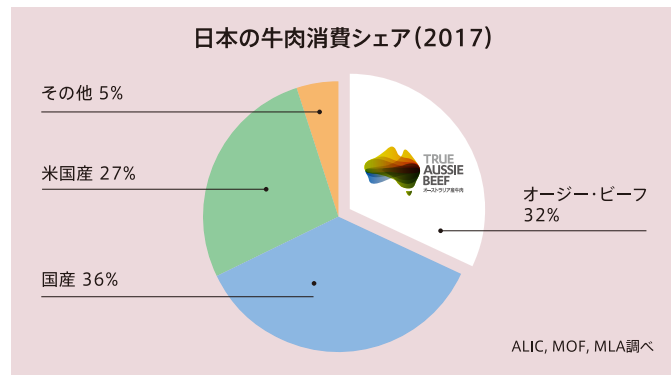
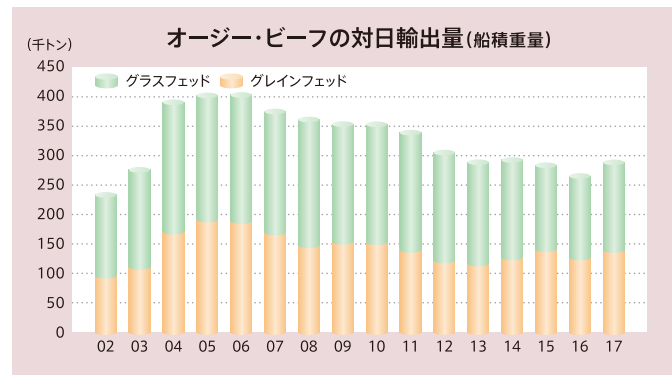


オーギー・ビーフ

Aussie Beef

■ オーギー・ビーフ概要(2017)

日本の約20倍の広さのあるオーストラリアでは、約2,725万頭(2017年現在)もの牛が飼育されています。また、生産する牛肉の約75%を輸出する世界最大級の牛肉輸出国であり、その経験と技術が品質をしっかりと支えています。さらに、オーストラリアにとって重要な牛肉輸出市場は日本。したがって、日本のお客様のさまざまな好みに合わせた牛肉を生産することができ、食文化の多様化に対応いたします。



■ オーストラリアにおける代表的な肉用牛の品種



アンガス種



ヘレフォード種



ブラーマン種



サンタガトルーダス種

■ 育て方のちがい

グラスフェッドビーフとは?

牧草飼育牛肉(Grassfed Beef)。大自然に育まれた栄養豊かな牧草により飼育された、赤身の多い牛肉です。

グレインフェッドビーフとは?

穀物肥育牛肉(Grainfed Beef)。穀物飼料により肥育された牛肉は、ジューシーでテンダー。脂肪交雑もほど良く入った、日本向けに開発された牛肉です。

■ 飼料作物のおもな種類

牧草 イネ科、マメ科の植物を単独もしくは混播し、肉牛に良質な牧草を与えています。地域や季節により牧草の種類は異なります。



穀物 蒸して圧片し、消化しやすい状態にして肉牛に与えています。フィードロットや季節により穀物の種類は異なります。

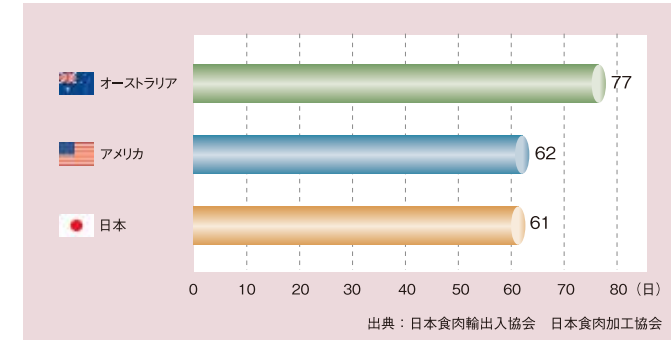


■ 幅広い商品レンジ

オーギー・ビーフは、牧草飼育から穀物肥育まで、日本の皆様のニーズにあった商品レンジが自慢です。バラエティに富んだ商品レンジを提供できるからこそ、日々の家庭料理から高級レストランまで、さまざまなシーンでそのおいしさを多くの方にお届けすることができるのです。



■ 賞味期限の比較

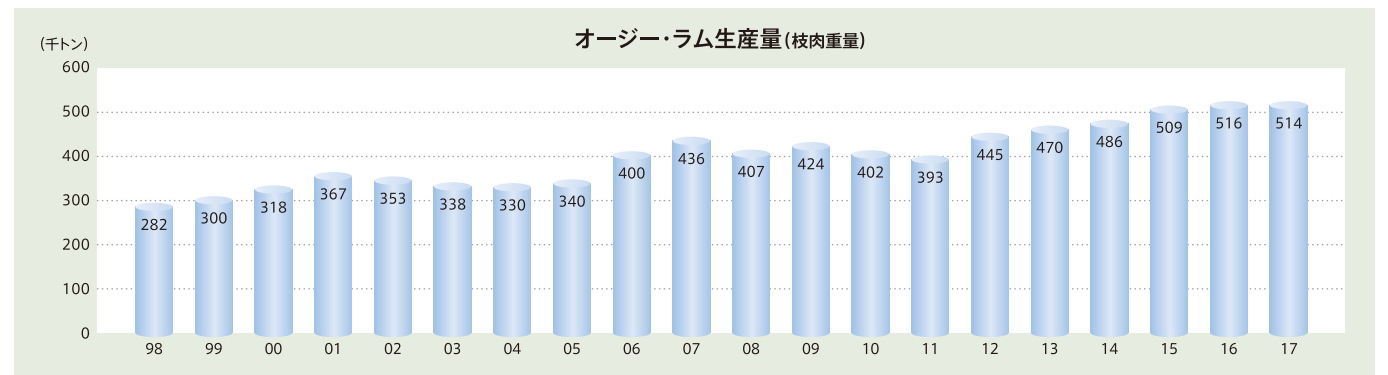
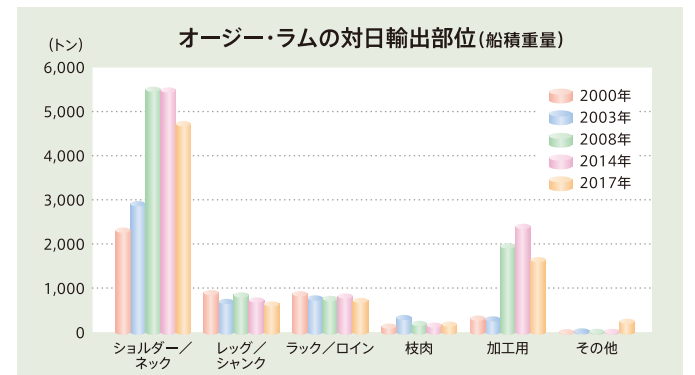
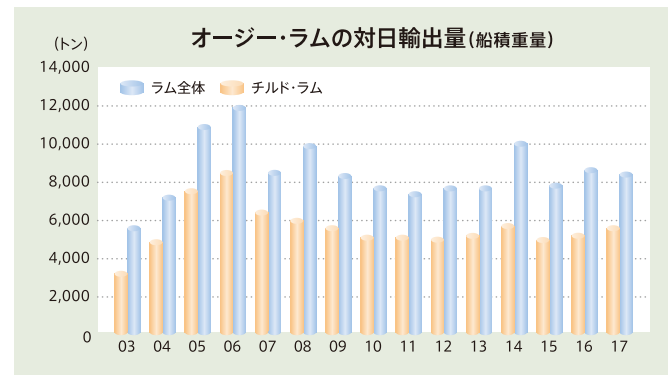


オーギー・ラム

Aussie Lamb

■ 世界で最も高品質なラムの生産国 オーストラリア

ラムはオーストラリアでは、日常手軽に食卓にのぼる食肉です。また、宗教にかかわらず食べられることから、オーギー・ラムは世界中で親しまれています。広大なオーストラリア大陸で、健康に育ったオーギー・ラムは品質が高く、ヘルシーで美味しいと日本でも広く認知されています。



■ オーストラリアにおける代表的な羊の品種



メリノ種



ドーセット種



ボーダーレスター種



サフォーク種

■ 特徴

国名	主な飼育期間	サイズ
オーストラリア	6～10ヵ月	20～24kg
ニュージーランド	4～8ヵ月	15～16kg

	ラム・・・L 0永久門歯 雌または去勢非去勢雄約0-12ヵ月
	マトン・・・M 1-8永久門歯 第二次性徴のない雌または去勢雄約10ヵ月以上

■ 品質保証とトレーサビリティ

オーストラリア産羊肉には、牛肉と同様、農場から加工場までの品質保証システムとトレーサビリティ・システムが確立されています。羊のNLIS電子タグシステムも、2006年1月より義務化されました。

